



令和6年10月7日
十日町市文化財課

『十日町市文化財保存活用地域計画認定記念シンポジウム』

－ 観光資源 －

「私たちの文化遺産を推しコンテンツへ」を開催します

『十日町市文化財保存活用地域計画』が本年7月に国の認定を受けたことを記念して、シンポジウムを開催します。

1 シンポジウム概要（※内容・申込の詳細は添付資料をご覧ください）

- （1）日 時 令和6年11月2日（土）午後1時30分から午後4時30分
- （2）会 場 越後妻有文化ホール「段十ろう」（十日町市本町一丁目上508番地2）
- （3）参加費 入場無料（要事前申込。席に空きがあれば当日の参加も可）
- （4）主 催 十日町市・十日町市教育委員会
- （5）後 援 新潟県十日町地域振興局

【主な内容】

- ・プレミアムトーク「縄文から続く食文化をどう未来へ伝え続けるのか」
講師：土井善晴氏（料理研究家）
- ・十日町市文化財保存活用地域計画 概要説明
- ・アドバンストーク「地域ストーリーと文化遺産を活かしたまちづくり」
講師：丁野朗氏（観光未来プランナー）
- ・トークセッション「とおかまちの文化遺産をどう料理する！？」
アレンジ

地域で活動を実践している方々が、十日町市の文化遺産をどのようにアレンジして活動にプラスしていくのか。そのヒントを講師のお二人からアドバイスをいただきながら来場者の皆さんと考えます。

2 添付資料

- ・十日町市文化財保存活用地域計画認定記念シンポジウムチラシ

■お問合せ先

十日町市文化財課 文化財保護係
担当：春川・高橋 ☎025-757-5531

私たちの文化遺産を 推しコンテツへ

観光資源

縄文から続くこの地域の歴史文化・地域の営みを知り、訪れる人に「十日町らしさ」を実感してもらう方法を考えるシンポジウム

十日町市文化財保存活用地域計画認定記念シンポジウム



十日町市博物館提供 Photo By T.Ogawa

令和 6 年

11/2 (土)

13:30~16:30 (13:00開場)

会場：越後妻有文化ホール 段+ろろ
(十日町市本町一丁目上 508 番地 2)

参加費
無料

定員:700名

[要事前申込み]

申込みはこちら QRコードもしくは電話から



エフエムとおかまち
TEL.025-752-7830

※席に空きがあれば当日の参加も可能です。

主催：十日町市・十日町市教育委員会

問合せ・申込み先 運営：エフエムとおかまち TEL.025-752-7830

第1部 プレミアムトーク

(十日町地域振興局 後援)

「縄文から続く食文化を
どう未来へ伝え続けるのか」

料理研究家 土井 善晴さん
とい よしはる



十日町市文化財保存活用地域計画 概要説明 十日町市文化財課長 菅沼 亘

第2部 アドバンストーク

「地域ストーリーと
文化遺産を活かしたまちづくり」

観光未来プランナー 丁野 朗さん
ちょうの あきら



第3部 トークセッション

「とおかまちの文化遺産をどう料理する!？」

パネラー

弓削 朋子さん 十日町会席ゆげ代表

柳 一成さん 十日町市観光協会 代表理事

コーディネーター

渡辺 正範 十日町市教育長

村山 好明さん

菅沼 亘

有限会社ネオ昭和 代表取締役

十日町市文化財課長

私たちの文化遺産を推しコンテソツへ

令和6年11月2日(土) 13:30~16:30 (13:00開場)



第1部 プレミアムトーク

(十日町地域振興局 後援)

「縄文から続く食文化をどう未来へ伝え続けるのか」

料理研究家

十文字学園女子大学招聘教授

東京大学先端研客員研究員

どい よしはる

土井 善晴さん



スイス・フランスでフランス料理、大阪味吉兆で日本料理を修行。土井勝料理学校教授として勤務後、おいしいもの研究所を設立し独立。人が生きていく上で最も大切な食事として「食事学」「料理学」を広く指導、和食の観念から「一汁一菜」を提唱している。NHK『きょうの料理』ギネス記録料理番組1987年より講師継続中。

2022年度文化庁長官表彰受賞。功績概要「日常の食事は、ご飯と具だくさんの味噌汁で充分」との提案により、多忙な現代人であっても気軽に日本の食文化の豊かさや楽しみに触れられるきっかけを作ったこと及び国外での交流活動等を通じて、我が国の食文化の振興・発信に多大な貢献をした。

・主なメディア出演

NHKきょうの料理、テレビ朝日「おかずのクッキング」※各1988年より継続中
MBS「プレバト／盛付け審査」
BS朝日「土井善晴の美食探訪」

・主な著書

「味つけはせんでえんです」(ミシマ社)
「おいしいもんには理由がある」(ウェッジ)
「一汁一菜でよいという提案」(グラフィック社) 他多数

・主な連載

おかずのクッキング(テレビ朝日)
きょうの料理(NHK出版)

十日町市文化財保存活用地域計画 概要説明

十日町市文化財課長 菅沼 亘

第2部 アドバンストーク

「地域ストーリーと文化遺産を活かしたまちづくり」

観光未来プランナー

(公社)日本観光振興協会総合研究所顧問
文化庁日本遺産審査・評価委員

ちょうの あきら

丁野 朗さん



環境政策のシンクタンクを経て、1989年(財)余暇開発センター移籍。「ハッピーマンデー制度」や産業観光などの地域活性化事業に携わる。2008年(公社)日本観光振興協会常務理事総合研究所長を経て、2020年より同協会顧問。

観光庁、経済産業省、スポーツ庁、文化庁(日本遺産・文化観光)などの関係省庁委員や呉市(顧問)、横須賀市、小田原市、舞鶴市、益田市、越谷市など各地のアドバイザーを務める。日本商工会議所観光専門委員会学識委員、全国産業観光推進協議会副会長なども務める。

第3部 トークセッション

アレンジ

「とおかまちの文化遺産をどう料理する!？」

アドバイザー

土井 善晴さん 丁野 朗さん

パネラー

弓削 朋子さん

十日町会席ゆげ 代表

柳 一成さん

十日町市観光協会 代表理事

村山 好明さん

有限会社ネオ昭和 代表取締役

菅沼 亘

十日町市文化財課長

コーディネーター

渡辺 正範 十日町市教育長



■十日町市文化財保存活用地域計画について

(計画期間:令和6(2024)年度~令和15(2033)年度)

「文化財保存活用地域計画」は、平成30年の文化財保護法改正により制度化された市町村における総合的な文化財の保存・活用に関する法定計画です。十日町市が策定した「十日町市文化財保存活用計画」では、有形・無形の文化財を「歴史文化遺産」と定義し「地域の財(たから)」として適切に保存・管理しながら、文化観光等に生かすことにより、地域ブランドの向上と交流人口・関係人口の増加を図り、地域経済の活性化につなげる好循環を作り、地域総がかりでまちづくりを推進することを目的としています。

<十日町市文化財保存活用地域計画に関する問い合わせ先>

十日町市教育委員会 教育文化部 文化財課

〒948-0072 新潟県十日町市西本町1丁目448番地9(十日町市博物館内)

TEL:025-757-5531